



学校通信

我が輩はトラフズク

令和6年6月21日 No.3

弘前市立第三中学校 (文責: 教頭 前田 達哉)

創造・感動・笑顔

夢追い人曰く

校長 小笠原 恭史

以前、夢を追う人たちと多く会う頃がありました。その人たちとの出会いは、私に、たくさんのこと教えてくれました。

夢を理想と思っていた私に、ある夢追い人は「達成したい未来の現実」と言いました。夢を有名なることやお金持ちになること、職業に見いだしていた私に、ある人は「いいお母さんになって温かい家庭をつくること」とキラキラした目で話してくれたことも強く憶えています。夢は、その人が「達成したい未来の現実」だと知りました。

ただ、面倒くさがりな私は、すぐ次のようにも思いました。「達成したい未来の現実」はあるけれど、努力・準備が大変そうで自分には無理だと思いました。すると、ある人は、あっけらかんと「大変です。でも無理ではないんです。大変なだけなんです。」と言いました。はっと思われ、気づいたことがあります。

ドミノ倒しって知っていますか。四角いブロックのようなものをたくさん並べて、端から倒していく遊びです。

夢を叶えることは、まるでドミノ倒しのように思いました。例えば夢を叶えることを1万個のドミノを倒すこととして、それは大変なことです。しかし、1つ目のドミノを指で軽く押して、その1つ目のドミノが2つ目のドミノを倒すこと、2つ目のドミノが3つ目のドミノを倒していくことは大変なことではありません。9999個目のドミノが1万個目のドミノを倒すことも、1つのドミノが次のドミノを倒すだけのことです。1万個連続していくことは大変なことですが、1つ1つ次へと進んでいくことは大変なことではなく、その積み重ねが1万個に辿り着くことは無理なことではないのです。

今日の自分ができることをして明日の自分になること、明日の自分ができることをしてまた次の日の自分になることは大変なことではありません。そのことを続けた10年後～3650日後の自分ができることは今日の自分ができることより遙かに凄いのですが、3649日目の自分が3650日目の自分になることは大変なことではないのです。続けることは大変ですが、続けた3650日目の自分になることは無理ではないのです。

“大変だけれど無理ではない”というこの言葉、誰もが反応する言葉ではありません。“達成したい未来の現実”がある人にとってパワーワードになるようです。私自身、“達成したい未来の三中”があるので、“大変だけれど無理ではない”という言葉は支えになっています。

今日の自分ができることの連続が未来をつくります。苦手なことほど小さな努力の積み重ねです。真剣に受ける授業の積み重ねは、眠い目をこすっての家庭学習を圧倒します。

達成したい未来の現実に向かって、今日の自分ができることを重ねましょう。

団結を競う! スポーツフェスティバル

5月24日(金)、肌寒く曇り空の日でしたが、予定どおりの日程で開催することができました。競技では、学年団体(1学年:バンブーサーフィン、2学年:綱引き、3学年:借り物リレー)、長縄跳び、全員リレー、学級対抗リレーが行われ、学級の仲間との団結が試される競技が続き、各競技にわたり大きな盛り上がりを見せてくださいました。また、当日は、たくさんの保護者の方に来校していただき、子どもたちの学級で練習した成果や最後まで諦めない姿勢、チームワークをご覧いただけたと思います。これからも様々な行事を通して、よりクラスの団結力を高めていけるよう頑張っていってほしいと思います。



7月の主な行事予定

(変更になる場合もあります)

1 月	短縮6時間 ⑤⑥3年思春期教室	16 火	平常6時間 学区民生委員連絡協議会 県中体連夏季大会予備日
2 火	変則6時間、3年実力テスト ⑥1年少年犯罪防止教室	17 水	平常6時間、⑥1学期末大清掃
3 水	短縮5時間、全校朝会	18 木	平常6時間
4 木	短縮6時間	19 金	平常2時間、③終業式、④学活 ※給食あり 退下13:30
5 金	短縮6時間、第1回漢字検定	20 土	
6 土		21 日	
7 日		22 月	三者面談(全学年) 3年学習会①
8 月	短縮6時間、学校運営協議会②	23 火	三者面談(全学年) 3年学習会②
9 火	短縮6時間、⑤⑥1年思春期教室 生徒会委員会	24 水	三者面談(全学年) 3年学習会③
10 水	平常5時間 ⑤SOSの出し方教室(全校)	25 木	三者面談(1、2年) 3年学習会④
11 木	短縮6時間	26 金	三者面談(全学年) 3年学習会⑤
12 金	平常6時間、県大会激励会	27 土	
13 土		28 日	
14 日	第75回県中体連夏季大会1日目	29 月	三者面談(3年)
15 月	海の日 県中体連夏季大会2日目	30 火	
		31 水	第1回中教研Ⅰ研修会